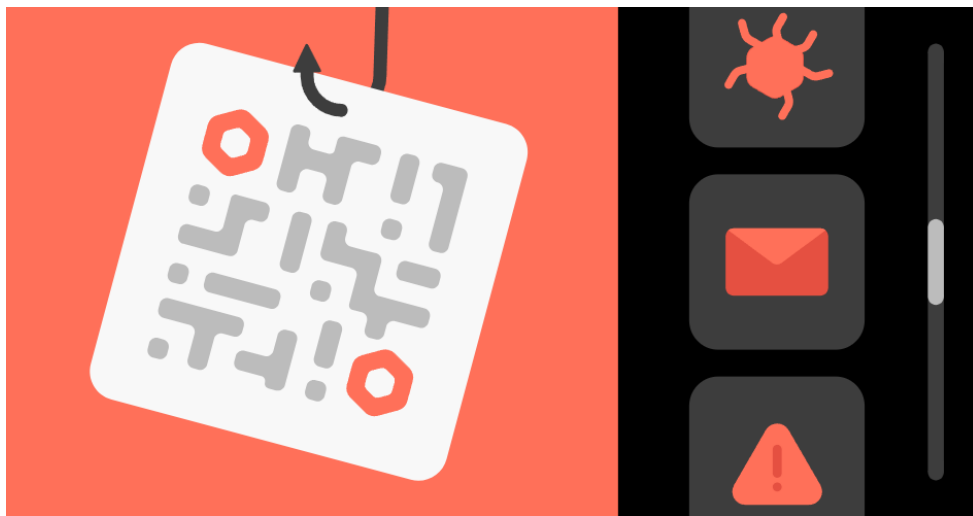


学生の約56%が月に1回以上QRコードを使用?! NordVPNが春の新生活に向けてQRコード活用に関する調査結果を発表 ～QRコードを悪用した「クイツシング詐欺」への5つの対策をご紹介します～

個人向けセキュリティサービスを提供するNordVPN(本社:オランダ・アムステルダム、日本代表:小原拓郎)は、近年学生の間でQRコードの利用者数が増加していることを受け、QRコードの利用に関する調査を実施しました。また、QRコードを悪用したフィッシング詐欺「クイツシング」(「QRコード」と「フィッシング(Phishing)」を組み合わせた造語)に関するセキュリティ対策を5つご紹介します。



調査概要

NordVPNは、日本、ドイツ、イタリア、ブラジルの4カ国4,000名以上を対象に、QRコードの利用に関する調査を実施しました。

調査期間:2024年11月18日～11月28日

調査人数:各国約1,000人

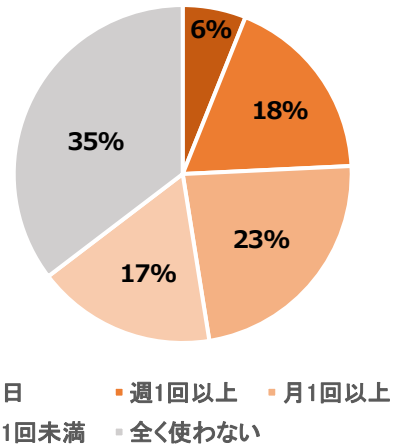
調査対象:18～74歳の成人

調査機関:NordVPN

近年、QRコードの使用用途拡大により、消費者の生活形態は変わりつつあります。経済産業省によると、2023年のキャッシュレス決済比率は、全体の約39.3%を記録し、2013年の約15.3%と比較すると10年間で約2.6倍増加しています([出典:経済産業省ウェブサイト](#))。その中でも特にコード決済の利用率は急増しており、2019年は約1.0%にであったことに対し、2023年は約10.9%を記録するなど4年間で10倍以上増加しています。NordVPNはこうした実情を背景に、QRコードに関する調査を実施しました。また、QRコードを悪用した新たなフィッシング詐欺である「QRコード」と「フィッシング(Phishing)」を組み合わせた造語からなる「クイツシング詐欺」に対するセキュリティ対策についても紹介します。

■日本人の約48%が「少なくとも月1回以上QRコードを利用する」と回答

QRコードの利用頻度に関する調査では、日本人の約48%が「少なくとも月1回以上QRコードを利用する」と回答。さらに、年代別の調査では、Z世代(18~27歳)の約56%が「少なくとも月1回以上QRコードを利用する」と回答し、ベビーブーマー世代(60~78歳)の約38%と比較すると、若者のQRコード使用率が高いことがわかります。QRコードを利用し、学生が授業に必要な資料にアクセスしたり、友人間で食事代などの精算をすることから、若者のQRコード利用率が高いことが予測されます。



※構成比は四捨五入の関係で、合計が100%になっていません。

■高所得者は、低所得者に比べて約1.5倍QRコードを利用しているという結果に

収入別のQRコードの使用率に関する調査では、高所得者の約56%が「少なくとも月1回以上QRコードを利用する」と回答し、低所得者の約37%と比較すると約1.5倍QRコードを日常的に利用していることが判明しました。

本調査の結果から、日本人の約半数が日常的にQRコードを利用していることが判明し、今後も利用率が増えることが予測されます。一方で、QRコードの利用頻度が増えることにより、QRコード技術を利用した新しいタイプのフィッシング詐欺「クイツシング」にも注意が必要です。クイツシングとは、「QRコード」と「フィッシング」を組み合わせた造語で、サイバー犯罪者がQRコードを悪用してユーザーを不正なサイトに誘導する手法を指します。そのため、より一層セキュリティに対する対策が必要です。

■QRコード技術を利用したフィッシング詐欺「クイツシング」の仕組みとは

1. サイバー犯罪者が有害なURLを埋め込んだQRコードを作成します。
2. QRコードをメールやSNS、ポスター、チラシなどでユーザーに配布します。
3. ユーザーがQRコードをスキャンするように、社内のITサポートを装ったり、駐車メーターに記載することで、ユーザーを誘導します。
4. ユーザーがQRコードをスキャンすると、偽のウェブサイトへ誘導されたり、マルウェアがダウンロードされたりします。
5. 攻撃者は収集したデータを悪用し、さらなる攻撃を行います。

■クイツシングのリスクとは

1. データの盗難: 個人情報、ログイン情報、クレジットカード情報などが第三者に盗まれる可能性があります。
2. マルウェア感染: スパイウェア、ランサムウェア、トロイの木馬などの悪意のあるプログラムがデバイスにインストールされる可能性があります。
3. 金銭的損失: 不正な取引や銀行口座からの資金流出が発生する恐れがあります。
4. 評判の低下: 企業の場合、顧客データの流出により社会的信頼を失う可能性があります。
5. プライバシーの侵害: 写真やチャットメッセージなどの個人情報が流出し、脅迫されるなど悪用される危険性があります。

■NordVPN 最高技術責任者マリユス・ブリエディスが提案するクイッシング詐欺への対策

デジタル化が進む中で、QRコードはカフェでの Wi-Fi 接続やレストランでの注文で活用されるなど、私たちの生活を便利にしています。しかし、QRコードを盲目的に信頼することで、ユーザーが知らず知らずのうちにサイバー詐欺にさらされる可能性があります。そのため、潜在的なリスクに注意を払い、慎重に使用することが重要です。詐欺被害に遭わないために、5つの対策をご紹介します。

不審な QR コードはスキャンしない

QRコードを読み取る前に、発行元が信頼できるものであるかを必ず確認してください。出所が不明な QR コードや公共の場に掲示されている QR コードは、読み取りを控える、または慎重に対応することが重要です。特に短縮 URL が含まれている場合は、遷移先の情報が見えにくくなるため、より一層の注意が求められます。

安全な QR コードリーダーを使用する

QRコードを読み取った後に表示される URL を必ず確認し、不審なドメインやスペルミスが含まれていないかを確認してください。正規のサイトに見せかけた偽サイトである可能性もあるため、慎重な確認が必要です。

URL を確認する

QRコード読み取り後に表示される URL を確認し、不審なドメイン名やスペルミスがないか確認しましょう。

デバイスとソフトウェアを常に最新の状態に保つ

スマートフォンや使用するアプリケーションは常に最新バージョンにアップデートすることで、セキュリティの脆弱性を最小限に抑えることが可能です。

多要素認証(MFA)の導入する

万が一、パスワードが流出した場合でも、不正アクセスを防ぐ手段として多要素認証(MFA)の設定を推奨します。

■NordVPN について

NordVPN は、世界中で何百万人のユーザーをもつ先進的な VPN サービスプロバイダーです。7,000 台以上のサーバーを 111 カ国で提供し、専用 IP や Double VPN、Onion Over VPN サーバーなど、多彩な機能を備え、トラッキングなしでオンラインプライバシーを強化します。主要機能の一つである「脅威対策 Pro」は、悪質なウェブサイトやトラッカー、広告のブロックに加え、マルウェアのスクランが可能です。さらに、最新の製品であるグローバル eSIM サービス「Saily」を展開しています。「Saily」は海外旅行者向けに設計されており、現地で SIM カードを購入する必要がなく、簡単にデータ通信が利用可能です。

【会社概要】

会社名: NordVPN

本社: Fred. Roeskestraat 115 1076 EE Amsterdam, Netherlands

日本代表: 小原拓郎

NordVPN ウェブサイト: <https://nordvpn.com/ja/>

VPN について: <https://nordvpn.com/ja/what-is-a-vpn/>